

脊椎脊髄外科領域の周術期というと、疾患自体も多いため、非常に広範囲に及びます。膨大かつ複雑な内容であり、この大変な作業を取りまとめられた根尾昌志先生のリーダーシップには感服いたします。

最初に同意書における必要事項について注意すべき点が挙げられています。医療訴訟においては、説明同意文書の内容が問題になることは現在でも珍しくないことに留意する必要があります。過去の裁判例の蓄積や、実際の医療訴訟の経験から抽出した「隙のない手術説明同意書」のポイントが挙げられていますが、今一度、ご自身の同意文書が、これらに合致しているかを確認しておくとうよいと思います。

特殊な病態である小児脊椎や転移性脊椎腫瘍の手術に際しての手術説明や周術期管理、スポーツ選手に対する手術の考え方や特殊な術後管理、慢性腰痛に対する手術説明と術後対応においても非常に得るものが多いと感じます。

また、高齢化社会の最先端である日本における脊椎脊髄手術の周術期管理は今後他国においても参考となるものが多いと思います。高齢であるがために合併症をきたしやすい土壌があり、術後にもさまざまな病態を生じ得ることを今一度確認し、手術同意書の作成、周術期管理を見直すことも行っていただきたいと思います。

私たち外科医にとって、手術技術が確かなるために努力することは言うに及びません。しかし、1つの合併症で外科医の運命が悪い方向に決まってしまうことは避けなければなりません。手術部位誤認などは経験症例が増えるほど経験してしまうものであります。そのときの対応次第で今後の外科医としての道が存続するかどうか分かります。術後対応を真摯に行うのはもちろんのことですが、誤認をなくすために医療従事者間で協力し合って対処するべきだと思います。

自分自身の医療レベルを上げることのみならず、起こり得る合併症に備えられるようになるためにも、本書は必ず一助になることと思います。内容の濃い本書を是非ご覧になってください。

(原 政人)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 35 No. 12
(2023 年 3 月 31 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 5,800 円 + 税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2022,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。